

市長メッセージ(市内での陽性確認者の発生)

市民の皆さん、こんばんは。

本日、新型コロナウイルス感染症に関し、米軍経ヶ岬通信所における米軍人の陽性確認者が発生した旨、京都府及び防衛省からご連絡をいただきました。

まずは感染された方の一日も早い回復を心から願うばかりです。一方、現在、京都府丹後保健所により本人の隔離と濃厚接触者など必要なフォローがなされております。

その上で、何より大切なことは、市民の皆さん、関係者への感染拡大防止とその徹底であります。

このため、本日、直ちに感染の経過、防止対策等について防衛省のご訪問と状況報告をお受けするとともに、どうしても必要な、基地内外における感染防止の徹底のため、本市からの要請を防衛大臣にあて近畿中部防衛局長に対して強く行ったところです。

本市として引き続き、京都府、防衛省など関係機関と共に、感染拡大防止の徹底のための適切な対応にしっかりと努めてまいります。

ともあれ、私たち、市民としても大切にしなければならないことは、何よりも、この機会に私たち自身の感染予防の重要性を再確認いただき、感染予防対策を引き続き自ら徹底していくことです。

- (1) 社会的距離(できるだけ2m(最低1m))の確保
- (2) マスクの着用
- (3) こまめな手洗い、そして3密(密集、密接、密閉)の回避

そして最後に、心を込めてお伝えしたい大切なことがあります。

というのも、もしこの先も含め、市内の方の感染がさらに確認されても、感染者の方またそのご家族、関係者を巡り、人権侵害になるようなことは、決して、私たちとして行わない、ということです！

例えば、感染者をあえて探し出したり、その方やご家族を万一にも誹謗、中傷してしまう行為など、決してあってはなりません。デマやうわさに振り回されるなんてことも、同様です。想像したくもないですが、万々一にも、大切な市民の仲間が地域で暮らしづらくなったり、お気持ちが追い詰められたり、なんてことは、絶対にさけなければなりません。

同時にむしろ、まちの仲間として健康回復を心からご一緒に応援していただき、行政としても全力で支援してまいります。

いずれにしても、今大切なことはなにより、感染予防の徹底です。市民全体で感染予防対策に取り組み、一丸となってこの難局を乗り越えましょう！

令和2年7月27日

京丹後市長 中山 泰